

第191回「防災塾・だるま」防災まちづくり談義の会

題目 関東大震災から百年 —写真や絵葉書で知る横浜の記憶—

(付録) まち歩き提案



日時 2023年5月26日(金) 15:00~16:15 (談義オンライン入室 14:50~)

会場 桜木町 ぴおシティ6階 【さくらリビング】 第1研修室

住所 住所: 〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1丁目1

【講演要旨】大正関東大震災から百年たった今、社会が大きく変わりましたが、求められる防災対策は変わっていません。それは地盤、耐震、火災です。昔と今の大きな違いは、当時旧横浜市は旧居留地面積が市域の半分を占め、土砂災害や火災被害が未調査地域です。結果震災の全貌を捉えられているとはいえません。同時多発火災後の火災旋風では旧東京市墨田区の被服廠が避難場所としてのリスクがまとめられていますが、東京では自然地形や樹木の効果などの調査報告がされていますが、ほぼ同時帯に発生している横浜公園では詳細な調査は行われていません。災害の本質的議論がされなければ同様な災害が起きてしまいます。震災、戦災と2度の災害体験を経て再び活気ある横浜が戻ってきましたが、現代の災害から見たとき、火災や山際に建つ住宅周辺での土砂災害対策が十分でしょうか。当時の写真や絵葉書などの非文字資料から震災の記憶を訪ねて、過去から未来に繋ぐ防災を意識しての防災まち歩きを提案します。

1. 百年前の大規模災害「横浜を襲った関東大震災」

- (1)海溝型直下地震の特徴
- (2)震災の特徴
- (3)山手の土砂災害の特徴
- (4)低地の地盤災害
- (5)日本列島縦断の颱風
- (6)想定外の同時多発火災と火災旋風

2. 百年前の予知情報と災害リスク

- (1)港湾都市横浜の開発に貢献した「ブラントン」と「ジェラルム」
- (2)社会情勢と震災復興
- (3)気象・地震予知
- (4)埋立地と台地の地盤・水問題

3. 【提案】防災まち歩きルート（横浜編）を作ろう

まち歩きの Key Point : ①テーマやストーリー性 ②参加者の体力

【健脚コース】 テーマ①プールさんの(火災からの)逃避行

BA ルート(内容): 横浜中華街から山手の台地へ(商館と住宅地)

【一般コース】 テーマ②ある英国人女性の逃避行

B ルート(内容): 山下町から横浜公園と新山下埋立地(避難場所)

【一般コース】 テーマ③自然の歴史と震災を学ぶ

B ルート(内容): 横浜三塔(耐震性)と横浜市開港資料館(歴史)
日本大通り(防火帯)と横浜公園(避難場所)

BA ルート(内容): 元町(横濱村の住民)と山手の崖(湧水)

【一般コース】 テーマ④: 文明開化と震災復興を学ぶ

C ルート(内容): 馬車道から伊勢山, 御所山(銀行と信仰)

地域

A 中村川右岸

B 関外と関内

C 大岡川左岸